

2023
09
2023
16_{sat}

C.C.C.THEATER 代表が ちがさきサポセンにやってくる！

茅ヶ崎市出身の、若手俳優・演出家の原田亮さんが、児童演劇をはじめたきっかけ、演劇の魅力、演劇を通じた人づくり・地域づくりについて、想いの文を語ります。



日時 ▶ 2023年9月16日(土) 13:00～15:00

会場 ▶ ちがさき市民活動サポートセンター

定員 ▶ 20名 参加費 ▶ 100円(資料代)

託児 ▶ 3名(生後半年～3歳) ※8/31(木)までに要申込/先着順

申込み ▶ 9月13日(水)までに、右記QRより、

または下記問合せ先へメール・電話でも受け付けます。

メールの場合、タイトル「SDGs ネットワーク事業 参加希望」

氏名・メールアドレス・電話番号・託児の有無を明記してください。

問合せ ▶ ちがさき市民活動サポートセンター

メール:s-center@pluto.plala.or.jp

電話:0467-88-7546(担当:小山、佐野)





はらだ りょう
スピーカー ▶ 原田 亮 さん

(C.C.C.THEATER代表/俳優・演出・脚本・演劇活動家)

サンフランシスコ州立大学演劇学科卒。脚本・演出・ワークショップを通して子どもたちへの児童演劇活動に携わる。

また多くの海外作品に参加。アシテジ国際児童青少年協会「次世代を担う若手アーティストプロジェクト」、アジアコラボ作品「小さな紳士」、ドイツ・ブラジル・日本共同作品「トレジャー」、留学経験を活かし、通訳・翻訳家としても活躍。演劇ユニットPlatanus(プラタナス)メンバー。

～ C.C.C.THEATER とは？～

Curious.
Chigasaki.
Children.



C.C.C. THEATER



2017年より発足した好奇心旺盛な、茅ヶ崎の、子どもたちのための劇団です。既存の台本ではなく、自分たちでストーリーを考え、作品を創作、表現をしています。「想像」「創造」「経験」のサイクルを通して、子どもたちの「未来を生きる力」を育みます。

演劇という擬似体験できる場で、子どもたちは自分の思いや考えをおもいっきり表現することができます。また、演劇は一人ではできません。

仲間と共に「競争」ではなく、「共走」していくことを目指しています。

そして、舞台上で多くの観客の前で表現することで、「自信」や「達成感」を身につけていきます。

(C.C.C.THEATER ホームページより抜粋)

● 当日の流れ

当日は、サポセンスタッフが、原田氏にインタビューしながら、お話を伺う「インタビュー・ダイアログ」形式で進行します。プログラムの後半、グループに分かれて感想を語り合う時間を設けます。

● 企画趣旨

「NPO「サポートちがさき」では、持続可能な地域社会の実現に向けて、市民活動団体、行政、企業など、多様な機関・団体をつなぎ、セクターを超えた顔の見える人間関係づくりを目的に、2022年度からSDGs ネットワーク事業を展開しています。

SDGsの17の目標には、芸術活動に関する項目はありませんが、誰もが生き生きと暮らす地域社会をつくるうえで、演劇をはじめとする芸術活動は、無くてはならないものだと考えています。

とりわけ、演劇は、創作活動への参加を通じて、地域住民に、多様な価値観を持つ人々が共に暮らす地域コミュニティづくりに不可欠な力(他者理解、表現力、チームワーク、批判的思考等)を培うことができる芸術であり、また、人と人の新たな出会いの機会を創出する機能を持つことから、地域におけるソーシャル・キャピタル(社会関係資本)を拡充することが期待されています。

そこで、第2回目となる今回は、茅ヶ崎出身の演出家・原田さんから、自らが主宰するC.C.C.THEATERの活動や演劇教育の意義等について語っていただいた後、「演劇を通じた人づくり・地域づくり」というテーマで会場の皆さんと共に語り合い、演劇活動を通じたSDGsの推進に関心を持つ人々のネットワークを広げます。

